

1 学力調査について

【和歌山県学力診断テスト】

- ・平成15年度から、毎年10月に実施される悉皆調査。
- ・対象： 小学校第4～6学年 国語・社会・算数・理科
中学校第1～3学年 国語・社会・数学・理科・英語
- ・平成19年度より、全国学力調査の関係で小学校6年、中学校3年は実施していない。
また、平成21・22年の2年間は実施しないことが決定されている。

【全国学力・学習状況調査】

- ・平成19年度から、4月下旬に実施されている悉皆調査。
- ・対象： 小学校第6学年 国語A・国語B・算数A・算数B
中学校第3学年 国語A・国語B・数学A・数学B
A：主として「知識」に関する問題 B：主として「活用」に関する問題
- ・国語、算数・数学の学力調査を実施するとともに、「質問紙調査」を実施。

2 平成20年度全国学力・学習状況調査について

(1) 学力調査の結果から

◆各調査の和歌山県、全国の平均正答率(%)

【小学校】				
	国語A	国語B	算数A	算数B
和歌山県(公立)	64.3	47.4	72.7	48.9
全国(公立)	65.4	50.5	72.2	51.6

【中学校】				
	国語A	国語B	数学A	算数B
和歌山県(公立)	71.9	57.0	64.3	48.8
全国(公立)	73.6	60.8	63.1	49.2

◆和歌山市と全国(公立)の正答率の比較

【小学校】				
	国語A	国語B	算数A	算数B
総問題数	18問	12問	19問	13問
5ポイント以上上回る	0	0	1	0
概ね同様	18	11	17	13
5ポイント以下下回る	0	1	1	0

【中学校】				
	国語A	国語B	数学A	数学B
総問題数	34問	10問	36問	15問
5ポイント以上上回る	0	0	1	0
概ね同様	26	2	32	10
5ポイント以下下回る	8	8	3	5

<小学校>

- ・4つの調査とも、全国平均と同様の結果となった。また、全国同様、「活用」に関するB問題に課題を残す結果となった。
- ・国語の調査では、概ね昨年度と同様の傾向であるが、「話す・聞く能力」に関する調査は、全国平均とやや差があり課題が残る。また、算数の調査では、B問題で昨年度より正答率が低くなったが、A問題はほとんどの問題で全国平均を上回った。

<中学校>

- ・国語A、数学Aともに、ほぼ全国平均と同様の結果となったが、国語B、数学Bについては、全国平均を5ポイント以上下回る設問もあった。
- ・国語においては、「読む能力」は昨年度より全国平均との差が小さくなっているが、「書く能力」や「言語に関する知識・理解」の問題では全国平均を下回る傾向が強かった。
- ・数学においては、A問題は、「数量関係」の問題に課題が残るものの、ほぼ全国平均と同様である。B問題では、「数量関係」「数学的な見方や考え方」に関する問題に課題はあるが、昨年度に比べて全国平均に近づいている。

<小学校・中学校>

- ・小学校、中学校とも、昨年同様無答率が全国平均を上回る傾向となった。特に、記述式の問題では、国語・算数数学を問わず高い無答率であった。出題あるいは解答形式に慣れていないことや調査に対する意欲に欠けることが原因と考えられる。

(2) 児童・生徒質問紙の結果から

学力調査とともに、児童生徒に対して、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査を行っている。

<小学校>

◆本市児童の回答の中で、全国の平均回答率を上回った主な質問

- ・学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(2時間以上)
- ・土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(3時間以上)
- ・家で食事をするときは、テレビを見ないようにしていますか。
- ・家で学校の宿題をしていますか。

◆本市児童の回答の中で、全国の平均回答率を下回った主な質問

- ・今住んでいる地域の行事に参加していますか。
- ・学習塾(家庭教師を含む)で勉強をしていますか(通っていない)。
- ・「総合的な学習の時間」の授業では、新しいことを発見できると思いますか。
- ・普段(月～金曜日)、何時ごろに起きますか(7時より前)。
- ・国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。

<中学校>

◆本市生徒の回答の中で、全国の平均回答率を上回った主な質問

- ・学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(2時間以上)。
- ・携帯電話で通話やメールをしていますか(毎日、時々)。
- ・数学の授業の内容はよく分かりますか。
- ・数学の勉強は好きですか。

◆本市生徒の回答の中で、全国の平均回答率を下回った主な質問

- ・普段(月～金曜日)、何時ごろに起きますか(7時より前)。
- ・今住んでいる地域の行事に参加していますか。
- ・学習塾(家庭教師を含む)で勉強をしていますか(通っていない)。
- ・国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。
- ・解答を文章で書く問題は、最後まで解答を書こうと努力しましたか。

3 学力向上対策として

<学校>

- ・現在、各学校では学力調査の結果の分析が行われている。10月16日に行われた和歌山県学力診断テストの結果も参考にしながら、学力向上、指導改善の方策を検討し、2月までに各校ごとにまとめる。
- ・学力向上のための各校の取り組みとしては、毎朝あるいは水曜日の給食終了後に、短時間ではあるが国語や算数のスキルを行ったり、読書の時間を確保したりしている。また、夏季休業中に児童・生徒に指導している学校もある。

<市教委>

- ・本市全体の分析をさらに進めるとともに、各校の結果や課題を把握し、指導・助言に役立てる。
- ・各校の取り組みについては、年間数回行われる学校長からのヒヤリングや指導主事による学校訪問等において、経過を把握するとともに指導を行っている。
- ・教育委員会内に「学力向上支援チーム」を設置し、客員指導主事と連携しながら施策立案を行っている。今後、客員指導主事が学校訪問を行い、各校の課題解決に向けた提言を行う。

4 その他

- ・結果の公表については、文部科学省から和歌山県教育委員会を通じて、過度な競争や学校間の序列化を招かないように数値結果等非公表の指示があり、それに伴い本市教育委員会は、平成20年9月9日、各小・中学校長あてに通知を行った。